

相互産業株式会社とバイタルエア・ジャパン株式会社の 合併に関するお知らせ

当社連結子会社である相互産業株式会社(以下「相互産業」)とバイタルエア・ジャパン株式会社(以下「バイタルエア・ジャパン」)は、先般それぞれの株主総会及び取締役会において、2020年7月1日を効力発生日として、相互産業を存続会社とし、バイタルエア・ジャパンを消滅会社とする合併(以下「本合併」)を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1.本合併の目的

本合併は、国内在宅医療ビジネスの需要が高まる中、二社を合併することにより経営効率を高め、患者様へのさらなるサービス向上を目指すものです。

相互産業が当社グループに参画して2年11ヶ月が経過し、また当社子会社として発足したバイタルエア・ジャパンは国内で20年以上在宅医療ビジネスに従事してまいりました。国内の医療体制において在宅医療の需要が高まる中、二社を合併することで在宅医療と医療ガスの両面から強く国内の医療システムに対してより大きな貢献ができるものと期待しています。

今後は新会社がエア・リキードグループの一員として、グローバルな経験値に基づく医療アプローチを日本国内に向けてこれまで以上に積極展開していく予定です。

2.本合併の方式

相互産業を存続会社とする吸収合併方式とし、バイタルエア・ジャパンは解散いたします。また、本合併と同時に商号をバイタルエア・ジャパン株式会社に変更いたします。

3.本合併後の状況

本合併による商号：バイタルエア・ジャパン株式会社

本社所在地：東京都大田区大森南2-11-13

代表者の役職、氏名：代表取締役社長 高橋秀明

その他、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部

03-6414-6728

ヘルス・ケアに関する日本エア・リキードの取組み

バイタルエア・ジャパンと相互産業株式会社を通じ、日本の在宅医療に取り組んできました。エア・リキードというブランドのもと、国内医療には35年間以上従事。睡眠時無呼吸、慢性閉塞性肺疾患、慢性呼吸不全などの呼吸器疾患を抱える約20,000人の患者さんの他、1,300以上の病院やクリニックに対してサービスを提供しています。日本の在宅医療サービスの需要がこれからさらに増加することが見込まれています。

日本エア・リキード

日本エア・リキードは、1907年に日本で初めて酸素製造を開始して以来、100年以上にわたり業界のパイオニアとして日本の産業発展に貢献しています。現在2,000名の社員を擁し、エレクトロニクスをはじめとする産業分野の企業へ酸素や窒素を供給しているほか、酸素燃焼装置などお客様のニーズに基づいた共同研究と課題解決に力を入れています。医療においては病院向けのガス供給のほか、在宅医療分野に注力。医療従事者や患者様が必要とする新たな治療機器やIoTを活用したソリューションを開発提供しています。またエア・リキードは脱炭素・水素社会の実現に向けてグループとして世界で水素ステーションを120カ所以上設置しています。日本でも水素ステーション建設のほか、水素エネルギーのバリューチェーンを網羅するリーディングカンパニーを目指しています。業界をリードするイノベーション・技術の中核とした革新的なソリューションの提供を通じてお客様と社会の発展に貢献します。

Air Liquideについて

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界80カ国で約67,000人の従業員を擁し、370万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。酸素、窒素、そして水素は、生命、物質、エネルギーに欠かせない分子であり、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の中心となってきました。

エア・リキードのアンビションは、ガス産業をリードし、長期的パフォーマンスを維持し、責任ある行動を取ることです。お客様を中心に据えた変革を戦略として実行し、長期にわたる利益ある成長をめざします。卓越したオペレーション、選択的な投資、オープンイノベーション、ネットワーク組織によりこれを達成します。社員のコミットメントとイノベーションにより、エネルギーと環境の転換、ヘルスケアの進展、デジタル変革を捉え、全てのステークホルダーにより大きな価値をもたらします。

2019年の売上は約220億ユーロです。エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ（A部）に上場されており、CAC40ならびにEURO STOXX 50指数およびFTSE4Good Indexの構成銘柄です。